

取り來れる指導理論を更に的確に再表現するの必要を痛感するものである。即ち吾等農民を解放し延ては我が國無産大衆を解放せしめるものは日本民族精神に立脚せる國家社會主義の指導理論より他に何物をも無き事を斷言し吾等はマルキシズムの潮流を汲む共產主義並に社會民主主義を排撃し以て社會主義日本建設の爲に國家社會主義的一大國民の政黨樹立の爲に邁進せんことを誓ふ。右宣言す。

昭和七年四月三十日

日本農民組合九州大會

聲 名 書

吾等は無産運動の右翼結成の爲め社會民衆黨を支持し來れるも從來同黨内部に包藏し來れる國家社會主義を信奉する吾等と社會民主主義を高調する一派とは遂に滿蒙問題を契機とし明かに其立場と見解とを異にするに至れり依て吾等は吾が日本のみ有する特種の國民精神に立脚せる運動こそ眞に日本無産階級を解放するものなりとの意見書を社會民衆黨に對し提出したるに彼等社會民主主義を奉ずる一派は國際主義を尊重して吾等の信ずる國民的立場を一蹴するに至れり依て吾等は如斯國際的社會民主主義を奉ずる社會民衆黨の支持を取消し國家的社會主義實現のために邁進し吾が九州同盟會に所屬する福岡、小倉の二市及浮羽、三井、朝倉、筑紫、早良、糸島、宗像、遠賀、鞍手、企救、京都、築上及大分縣宇佐郡の各郡支部員は直ちに社會民衆黨を脱黨して國家社會主義新黨準備會を組織するこ